

検討テーマ

情報の共有、一元化のほかネットワークが円滑に機能するための方策の検討

検討事項

支援者同士が顔の見える関係を構築し、支援のためのネットワークを円滑で機能的なものとするための事例検討会等の実施

【目的】

- 1 実際の支援を行う上での困難事例の解決
- 2 支援者のスキルアップ
- 3 お互いの支援内容を知ることと、全体のチームワークの向上
- 4 地域で活動する人など社会全体で支えたい人を増やす

【具体的に実施する事項】

① 支援機関による支援内容や事例報告会等の開催（事例検討：基礎編）

○趣旨

協議会の支援機関において、対応したケースなどを事例とし検討会を実施する。事例の検討を通して、その機関がどのような支援を行っているかを、他の機関と共有することもねらいとする。

○実施回数

年1回程度

○実施方法

年度当初に事務局が各支援機関と調整の上、実施する機関を定め、その機関の設置場所において実施する。なお、事例や検討内容は、事務局と各実施機関で調整する。

○その他

広く協議会以外の機関、団体へも参加者を募集する。

② 困難事例に対するケース検討会議の開催（事例検討：実践編）

○趣旨

協議会の支援機関において、複数の機関による支援が必要なケースや、支援方法について専門機関等の意見が必要なケース等について、関係機関による「ケース検討会議」を開催する。

○実施回数

年1回程度

○実施方法

関係機関の召集や、実施方法については、事務局と当該機関で調整する。

③ 支援手法の学習など、支援が円滑に行われるようにするための研修会の開催

○趣旨

専門的な支援手法をテーマとした研修等を開催することで、支援者のスキルアップを図るなど、支援が円滑に行われるようにするための研修会を実施する。

○実施回数

年1回程度

○実施方法

- ・年度当初に事務局がテーマを決定する。
- ・テーマは、支援者のスキルアップのための専門的な手法を学ぶもののほか、各支援団体等が行う「家族セミナー」などの開催手法など、幅広く選定する。
- ・テーマに関連する機関が集まって行う研修会のほか、協議会以外の機関、団体へも広く参加者を募集する一般的な研修会も実施する。
- ・講師は、必要に応じて、各テーマに沿った専門家や先進的に取り組む都市、機関等から招聘する。

④ 協議会カレンダーの作成

○趣旨

お互いの支援内容等を知り、情報を共有するため、協議会の機関等の開催行事等の中で、参加者の募集など広報の必要があるものなどを集約し発信する。

○実施回数

年4回程度（効果的な発行月を検討して設定）

○実施方法

事務局に情報を集約するシステムを構築し、メール配信や子ども・若者総合相談センターのHPに掲載する。

【企画・実施】

○子ども・若者総合相談センターの職員を含め、数名程度の企画委員を協議会の中から選定し、事務局とする。

○事務局は年度当初に各機関等と調整し、年間スケジュールを作成し、年度を通して、各機関等と連携して検討会の開催などをコーディネートする。

○原則参加者の募集、開催の通知等は事務局が行う。

【その他】

○企画委員の選定方法、その他詳細は別途定める。